

C-12	生徒が科学的に探究する高等学校理科の授業づくり						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
生徒が科学的に探究する授業となるよう、単元や授業をデザインするために必要な、自然の事物・現象についての専門的な知識を身に付け、高等学校理科の授業づくりについて理解を深める。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、非常勤講師、理科実習助手 12名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
期 日	研 修 内 容					指標における主な項目	
7/23 (火) 10:00～16:15	<p>○生徒が科学的に探究する教材の工夫や授業の構想〈物理分野〉(講義・演習)</p> <p>○生徒が科学的に探究する教材の工夫や授業の構想〈化学分野〉(講義・演習) 秋田エコプラッシュ株式会社 専務取締役 小泉 剛</p> <p>○生徒が科学的に探究する教材の工夫や授業の構想〈化学分野〉(演習・実験)</p>					<p>教科等指導力②④</p> <p>教科等指導力②④</p> <p>教科等指導力②④</p>	
携 行 品	<ul style="list-style-type: none"> ・実験衣 ・「高等学校学習指導要領解説」理科編・理数編（平成30年、文部科学省） ・その他携行品がある場合は、担当から受講者に連絡する。 						
担当者からの メッセージ	<p>令和6年度は、物理分野、化学分野に関する研修内容です。物理分野では、空想科学研究所が「未来の教室 STEAMライブラリー」に提供しているコンテンツ（教材）「うらしま太郎をシアワセにしてあげよう！」を用いた授業づくりについて講義・演習を行います。化学分野では、「プラスチックの再利用」に焦点を当て、容器包装材リサイクルの現状や課題について専門的な視点からのお話を伺ったり、授業づくりについて考えたりします。物理や化学が専門ではない方も、楽しく参加していただける研修を目指します。</p>						

(連絡先：教科・研究チーム TEL 018-873-7203)